平成 29 年 4 月発行予定　予約受付開始!!

改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル

交通工学研究会 発行　丸善出版 発売 ISBN978-4-905990-86-4
A4 版 約 240 頁　本体価格 3,500 円+税 会員価格 3,150 円+税

交通工学研究会では、1996 年「コミュニティ・ゾーン形成マニュアル」、2000 年「コミュニティ・ゾーン実践マニュアル」、2004 年「コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全」、そして、2011 年「生活道路のゾーン対策マニュアル」を出版し、対策の推進に努めてきました。このマニュアル出版からの 5 年間に、全国各地の皆様のご尽力により、生活道路対策における新たな制度が始まり、実践的な取り組みが数多くなされてきました。これを、より広く普及し、対策をさらに推進していくことを目指し、この 5 年間における最新の制度・取り組み・知見を加筆した改訂マニュアルを出版いたします。

改訂のポイントは、2011 年から行われている「ゾーン 30」の整備、そして 2016 年 3 月「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」への完全対応です。技術基準への適合はもちろん、ライジングボラードや雪寒地域での対応など、新たな知見も導入しています。物理的デバイスを含めた対策実施に活用いただけます。通学路合同点検やビッグデータ活用なども加えて、大幅な見直しと追記をしております。最新の事例も追加し、地区選定から手法選定に至るプロセスを、理論と実践から理解できるようにしております。

これからゾーン対策をはじめようとする地区にも、いまのゾーン 30 をさらにステップアップしていこうとする地区にも、この一冊で「基礎から実践まで」を網羅しています。最新情報を必要とする実務者の方にも、生活道路や通学路を守る市民の方にも、広くご一読いただきたい一冊です。

生活道路に関する検討小委員会　委員長　久保田　尚

-目次-　（予定）

はじめに

第Ⅰ部 ゾーン対策の進め方
1.1 ゾーン対策をはじめる 【ステップ 0】
1.2 地区の課題を知る 【ステップ 1】
1.3 対策を考える 【ステップ 2】
1.4 対策を実施する 【ステップ 3】
1.5 課題の解決を確認する 【ステップ 4】

第Ⅱ部 対策手法と留意点
2.1 手法の種類と適用の考え方
2.2 主な手法の特徴と適用上の留意点
2.3 交通規制と物理的デバイスの組み合せ事例
2.4 その他の留意点

第Ⅲ部 生活道路対策の事例
3.1 生活道路のゾーン対策の事例
3.2 各種取り組みと生活道路対策

参考資料
索引

・改訂版のポイント・

はじめに…
- これから始めようという方、実務者の方、さまざまなお悩みにあわせて、このマニュアルをナビします。

第Ⅰ部では…
- 対策推進のステップごとに、調査、計画策定、対策実施、評価に維持管理と詳細に解説します。
- ゾーン 30、凸部等技術基準、ビッグデータなど、新たな情報を掲載しました。

第Ⅱ部では…
- 必要な交通規制を主としたソフト的手法を網羅しています。
  最高速度 30km/h の区域規制、大型車等通行止め、歩行者用道路、一方通行、駐車禁止と駐車可、路側帯の設置・拡幅、一時停止規制と路面表示
- 物理的デバイスは、凸部等技術基準に完全対応し、ライジングボラードなどの最新情報も掲載しています。
  ハンプ、狭さく、シケイン、遮断、ライジングボラード
- 留意点として「自転車通行」について内容を全面見直しし、新たに「物理的デバイスの看板・表示」「寒冷地、積雪地、積雪寒冷地における物理的デバイス設置時の留意点」を追加しました。

第Ⅲ部では…
- 掲載事例 3地区を追加しました。
  つくば市（要地区）、船橋市（坪井地区）、綾瀬市（寺尾釜田地区）、
- テーマ別の取り組み事例も追加しました。

📖 書籍のご予約については下記サイトをご利用ください
発行 交通工学研究会　http://www.jste.or.jp/
発売 丸善出版（株）　http://pub.maruzen.co.jp/

JSTE